

平成28年度事業報告書

個別事業の内容について

I〔公益目的事業〕

1. 手話通訳者派遣事業（公1）

手話をコミュニケーションの手段とする聴覚障害者の社会生活上の意思疎通を円滑にするために手話通訳者及び手話講師の派遣事業に取り組んだ。

（1）手話通訳者派遣事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、手話通訳を必要とする団体（行政・民間企業等）の申し込みを受け付け、岡山県登録手話通訳者に打診し、内定した手話通訳者を派遣した。岡山県手話通訳者登録試験に合格し手話通訳者として岡山県に登録された者を派遣登録しており、本年度は6名を登録した。（内1名は県外から転居者）

平成28年度末現在95名を登録している。

事業実施のための財源 手話通訳依頼者からの手話通訳料を充当した。

①派遣件数 223件

4月…13件	5月…16件	6月…18件	7月…26件
8月…18件	9月…16件	10月…26件	11月…25件
12月…13件	1月…17件	2月…23件	3月…12件
計…223件			

②地区別派遣件数 223件

赤磐…7件	岡山…120件	鏡野…5件	総社…2件	加賀…16件
倉敷…17件	久米…1件	久米南…1件	瀬戸内…10件	高梁…3件
津山…2件	美作…2件	真庭…1件	備前…3件	矢掛…2件
美咲町…2件	新見…1件	浅口…2件	都窪…1件	小田…1件
計…223件				

③内容別派遣件数 223件

生命・健康…2件	警察・裁判…0件	生活・生計…0件	行政…17件
学校・教育…26件	職業・労働…104件	文化・スポーツ…18件	
会議・集会…48件	聴障協活動…5件	その他…3件	
計…223件			

（2）手話講師派遣事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、団体（行政・民間企業等）のからの申し込みを受け付け、開催される手話講座や手話講義に、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会が認めた手話講師を派遣し、聴覚障害者や手話に関する理解を広げると共に、

聴覚障害者の福祉向上と社会参加の促進を図った。講師登録研修を受けた者を毎年登録しており、平成28年度末現在の登録人数は87名である。

事業実施のための財源 手話講師派遣依頼者からの手話講師料を充当した。

[手話講師派遣実績]

依頼者	派遣日数	派遣人数	備考
高梁市	18日	4人	
就実高等学校	20日	2人	
新見市社会福祉協議会	18日	2人	
浅口市社会福祉協議会	22日	1人	
総社市社会福祉協議会	28日	1人	
岡山県消防学校	1日	2人	
国立吉備高原職業リハビリテーションセンター	20日	1人	
里庄町社会福祉協議会	18日	2人	
清心女子高等学校	1日	10人	
中国短期大学	1日	2人	
里庄中学校	1日	6人	
岡山医療技術専門学校	4日	2人	
鴨方高等学校	1日	12人	
津山東高等学校	2日	2人	高校1年生
	2日	2人	高校2年生
岡山高等歯科衛生専門学校	1日	2人	
後楽館高等学校	1日	2人	
専門学校ビーマックス	24日	4人	
朝日医療大学校歯科衛生学科	28日	2人	1年生 2年生
岡山市福祉交流プラザさいでん	22日	2人	
玉野市手話講師団	20日	2人	
岡山県警察本部	1日	2人	
OHK岡山放送	1日	2人	
興除地区愛育委員会	1日	2人	
岡山市立操山中学校	1日	2人	
合計	257日	73名	

2. 機関紙一般購読事業（公2）

聴覚障害者の情報不足を補うために、聴覚障害者福祉に関わる情報を提供するとともに、社会に対して聴覚障害者についての理解と啓発を促すため、次の事業を実施した。

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、「社会福祉法人岡山県共同募金会」より共同募金配分金を受けて機関紙一般購読事業を実施した。機関紙は岡山県内の聴覚障害者、賛助会員、手話サークル会員などの手話関係者、購読を希望する一般の方々及び関係機関・団体等へ毎月1回定期的に発行した。(発行部数527部・年間購読料2,000円)

なお、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会の会員には無料配布した。機関紙では、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会の活動報告だけでなく、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会や関係団体等の行事の案内や、災害情報や障害者に関する法律等の情報、全国の聴覚障害に関する様々な情報発信を行った。

事業実施のための財源 「社会福祉法人岡山県共同募金会」より受けている「共同募金配分金」と機関紙購読料及びを充当した。

3. 聴覚障害者のパソコン利用促進事業（公3）

聴覚障害者にパソコン利用に対するサポートや指導を行い、ITに関する知識を高め、社会への聴覚障害者参加の一層の促進を図るために、公益財団法人岡山県身体障害者福祉連合会から「岡山県地域生活支援社会参加促進事業」を受託し、「聴覚障害者のパソコン利用促進事業」を実施した。

(1) パソコンボランティア養成・派遣事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、公益財団法人岡山県身体障害者福祉連合会から「岡山県地域生活支援社会参加促進事業」に規定する「パソコンボランティア養成・派遣事業」を受託し、以下の事業を行っていたが、平成28年度から委託が終了したため、平成28年度は事業を休止した。

平成28年度は、事業を休止した。

事業実施のための財源 公益財団法人岡山県身体障害者福祉連合会からの委託料を充当していたが、平成28年度より委託が終了したため、事業を休止した。

(2) パソコン利用促進事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、公益財団法人岡山県身体障害者福祉連合会から「岡山県地域生活支援社会参加促進事業」に規定する「パソコン利用促進事業」を受託し、以下の事業を行っていたが、平成28年度から委託が終了したため、平成28年度は事業を休止した。

平成28年度は、事業を休止した。

事業実施のための財源 公益財団法人岡山県身体障害者福祉連合会からの委託料を充当していたが、平成28年度より委託が終了したため、事業を休止した。

4、福祉まつり事業（公4）

聴覚障害者、手話関係者、一般県民が交流を深め、聴覚障害者に対する正しい理解を広めること及び、聴覚障害者の自立と社会参加の促進を図ることを目的として次の事業を実施した。

「県民ふれあい手話まつり」事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、財団法人岡山県福祉事業団より「心身障害児者援護基金（ゴルフ基金）」の助成を受けて、備前市日生町で「県民ふれあい手話まつり」を開催した。

この事業は各支部（岡山支部・倉敷支部・玉野支部・東備支部・笠岡支部・浅口支部・井原支部・美作支部）が持ち回りで順番に実施しており、本年度は東備支部が実施した。（主催は公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会）

手話まつりの対象者は聴覚障害者だけでなく、地域の人を含め誰でも参加することができることとし、入場料や参加費は無料で行った。

手話まつりへは岡山県下の聴覚障害者、手話サークル会員等の関係者及び、地域の一般の方々が一同に会し、講演会等によって聴覚障害者に関わる諸問題について学び、お互いの交流を深め、広げていくことができた。開催場所は備前市日生町の公民館・体育館等の公共施設を利用した。参加人数は295名であった。平成28年度に実施された「県民ふれあい手話まつり」は以下の通りである。

平成28年11月20日（日）、備前市日生町において、「第32回県民ふれあい手話まつり」を開催した。

午前10時から開会式典を行い、その後アトラクションとして手話朗読、フラダンス、甚九郎太鼓が披露された。午後1時から、シネマライター鷹取洋二氏による講演「映画の楽しみ方をお教えします～ロケ地を歩いて感じたこと～」を行った。

協会の機関紙やホームページなどを通して広く一般に呼びかけ、当日295名が参加。聴覚障害者、手話サークル会員などの関係者のほか、備前市内の地域の方々の来場も見られ、地域交流にふさわしい場となり、地域の一般の方々に聴覚障害者についての理解を広める良い機会となった。

事業実施のための財源 心身障害児者援護基金（ゴルフ基金）の助成金等を充当した。

5. 研修会事業（公5）

聴覚障害者自身の社会参加のための啓発や、聴覚障害者の福利厚生の実現を図るために、研修会事業を実施した。

平成28年度より新事業「ともろう・はうす」事業の実施を開始した。

（1）ろう高齢者の集い事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、「社会福祉法人岡山県共同募金会」より共同募金配分金を受けてろう高齢者の集い事業を実施した。

岡山県内のろう高齢者（高齢聴覚障害者）を中心に情報交換や意見交換、生活防衛のための知識習得等を行い、孤独になりがちなろう高齢者に仲間と交流する場を提供することで、ろう高齢者が充実した生活を送れるよう支援した。対象者はろう高齢者（高齢聴覚障害者）を中心とした聴覚障害者やその家族、手話関係者等である。平成28年度に実施した「ろう高齢者の集い」事業の概要は次のとおりである。

平成28年10月3日（月）、第12回「ろう高齢者の集い」を岡山県聴覚障害者センター会議室で開催した。午後11時から各支部の高齢者の活動について報告を行い、「高齢聴覚障害者が安心して暮らせる社会のあり方」について意見交換を行った。

午後からは「ロコモ防止について」をテーマに、岡山ふれあいセンター健康運動指導士廣瀬武氏を招いて講演会を行った。各支部の情報交換を行い、お互いに今後の活動の参考になり有意義な研修会となった。参加は協会の機関紙やホームページで一般に呼びかけ、各支部を通して協会会員外のろう高齢者（高齢聴覚障害者）にも呼びかけを行った。当日は、ろう高齢者を中心に、手話サークルの方々や家族の方など、30名が参加した。

事業実施のための財源 共同募金配分金（社会福祉法人岡山県共同募金会）を充当した。

（2）聴覚障害者フォーラム事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、「社会福祉法人岡山県共同募金会」から共同募金配分金を受けて聴覚障害者の啓発を目的とした聴覚障害者フォーラム事業を実施した。

内容に応じて、「ろうあ運動フォーラム」「聴覚障害者労働問題フォーラム」「聴覚障害者フォーラム」として開催している。

一般財団法人全日本ろうあ連盟や公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会と同じく連盟に加盟している各都道府県団体で活動されている方による講演を行うとともに、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会の役員、会員の聴覚障害者や、手話通訳者、手話サークル会員などの関係者、その他テーマに興味を持つの方々による意見交換を行い、今後の活動方針を話し合った。

平成28年度に実施した「聴覚障害者フォーラム」の概要は次のとおりである。

平成28年12月18日（日）、きらめきプラザで開催。午後1時から「障害者差別解消法ってなに？」をテーマに公益社団法人大阪聴力障害者協会 会長 大竹浩司氏を招いて講演会を行った。平成28年4月に施行された障害者差別解消法に関する基礎知識の説明があり、障害者差別や合理的配慮に関わる内容や、全国の手話言語条例の取り組みなどを学習した。参加は協会の機関紙やホームページで一般社会に呼びかけ、当日は聴覚障害者、手話通訳者、手話サークルの方々など、40名が参加。聴覚障害者の福祉向上に向けて討議し、意見発表、情報交換等を行った。

事業実施のための財源 共同募金配分金（社会福祉法人岡山県共同募金会）等を充当した。

（3）聴覚障害者地域支援センター「ともろう・はうす」事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、会員からの寄付金及び指定正味財産を充当し、聴覚障害者地域支援センター事業「ともろう・はうす」を運営し事業を実施した。

平成28年度に新事業「ともろう・はうす」を開所し、運営を開始した。

「ともろう・はうす」は、聴覚障害者の様々な相談に応じると共に、日常生活に必要な情報提供を行い、生活向上のための学習、創作、調理実習、社会見学等交流の場を提供し、地域で豊かな暮らしと聴覚障害者の社会参加の促進に努めた。

平成28年7月3日に正式開所し、「ともろう・はうす」の運営を開始した。開所当初は週1回（月曜日）、11月から週2回（月曜日、土曜日）に運営した。

利用者は、聴覚障害者443名、健聴者230名、合計673名となった。

倉敷市内の当協会会員を中心に活動し、岡山県内の聴覚障害者、手話関係者などが集い、バーベキュー、クリスマス交流会等を実施し交流を深めた。また、参加者が得意とする作品作りや各種講座を行った。参加者は協会の機関紙やホームページで一般、当協会会員に呼びかけ、各支部を通して協会会員外の聴覚障害者にも呼びかけを行った。

事業実施のための財源 会員からの寄付金及び指定正味財産を充当した。

6. ゆずり葉上映事業（公6）

聴覚障害者についての理解や啓発と手話の普及を図るために次の事業を実施した。

映画「ゆずり葉」上映事業

映画「ゆずり葉」は、財団法人全日本ろうあ連盟が創立 60 周年を記念して制作した映画である。平成 28 年度から一般財団法人全日本ろうあ連盟から上映を中止するよう指示があり事業を中止したが、代わりに一般財団法人全日本ろうあ連盟が創立 70 周年を記念して制作した映画「段また段を成して」を上映した。

1. ろう者についての理解や啓発と手話の普及を図ること
2. 親や子どもたちに夢を与えること
3. 新しい映像文化を創造すること

以上を目的に上映運動を展開した。

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、一般財団法人全日本ろうあ連盟と映画上映についての契約を締結し、岡山県での「ゆずり葉」上映事業を主催として実施していたが、平成 28 年度については、「ゆずり葉」の上映は実施しなかった。平成 25 年度から岡山県映画普及センターへ委託して実施していたが、平成 28 年度は委託をしなかった。

平成 28 年度は、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、一般財団法人全日本ろうあ連盟と映画上映についての契約を締結し、岡山県で一般財団法人全日本ろうあ連盟創立 70 周年記念ドキュメンタリー映画「段また段を成して」上映事業を実施した。上映を希望する各支部が主催し、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会に上映権料として定められた金額を支払い、上映を行った。

平成 28 年度に実施した上映

【ゆずり葉】

平成 28 年度上映なし

【段また段を成して】

平成 29 年 1 月 15 日 岡山支部 岡山市南ふれあいセンター

平成 29 年 2 月 19 日 井原支部 井原市保健センター

平成 29 年 3 月 12 日 美作支部 津山市中央公民館

平成 29 年 3 月 19 日 玉野支部 日の出ふれあいセンター

平成 29 年 3 月 19 日 浅口支部 浅口市保健福祉センター

事業実施のための財源 上映権料を充当した。

平成 28 年度の上映は上記の 5 回であった。

平成 28 年度は「ゆずり葉」上映を行わず、「段また段を成して」の上映を実施した。

7、岡山県聴覚障害者センター管理運営事業（公7）

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、聴覚障害者の社会参加と自立促進のため、独自事業として手話通訳者の養成・派遣を中心に取り組んでおり、それをさらに拡充するために岡山県聴覚障害者センターの指定管理を受け、効率的に各事業を実施した。岡山県と公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会とは岡山県聴覚障害者センターの管理に関する包括協定書及び年度協定書を結び、以下の事業を行った。なお、管理運営にあたっては、岡山県聴覚障害者センター運営会議において聴覚障害者の視点を生かすことを努めた。

（1）聴覚障害者用の自主制作映画等の制作

1. 目的 聴覚障害者の福祉の増進及び各種情報提供に資するため、自主制作映画等を制作する。
2. 内容 身近な地域情報や社会的・文化的な情報などを主な内容とし、情報保障のためにすべてに字幕や手話の挿入を行った。
3. 岡山県聴覚障害者センターの職員と共にボランティアの協力を得てビデオ制作にあたった。撮影、編集、字幕・手話挿入などの専門的な技術研修を行い、良質なビデオの制作に努めた。
4. 平成28年度実績 年間10本の企画ビデオを制作（内1本は編集中）及び、1本の字幕挿入ビデオを制作中。

自主ビデオの作成

◇制作ビデオ

	制作ビデオのタイトル	経過
①	動画ブログ「ヒロヒゲの手話語り」（含む番外編）	243 話掲載
②	岡山城川面に映える漆黒の烏城(ライブラリー用)	完 成
③	岡山城川面に映える漆黒の烏城(目で聴くテレビ用)	完 成
④	県立図書館（音声なし）	完 成
⑤	県立図書館（音声あり）	完 成
⑥	県立図書館（目で聴くテレビ）	編集中
⑦	ヒロヒゲの手話語り DVD 第17巻	完 成
⑧	ヒロヒゲの手話語り DVD 第18巻	完 成
⑨	ヒロヒゲの手話語り DVD 第19巻	完 成
⑩	ヒロヒゲの手話語り DVD 第20巻	完 成

◇字幕挿入ビデオ

	制作ビデオのタイトル	経過
①	「0メートル地域の暮らしを守る」－百間川・倉安川の治水－（県	制作中

立図書館)

(2) 自立支援拠点活動支援事業

1. 目的 聴覚障害者の福祉の増進ならびに自立の支援を行うために、各種講習会等を開催し、生活文化の向上と社会参加の促進を図る。
 2. 対象 聴覚障害者（ろう者、中途失聴者、難聴者）
 3. 方法 県内広範に会場を設け、講習会や講座を実施した。
- ①自立支援拠点活動支援のための講座 17回 参加者 372名
 ②難聴者の手話教室 12回 参加者 114名

4. 自立支援拠点活動支援のための講座（内訳）

【ろう者対象の講演会等】

日時	内 容	会 場	人数
6月5日	運転免許特定任意講習会	岡山県運転免許センター	2
6月6日	運転免許特定任意講習会	岡山県運転免許センター	4
6月13日	介護保険制度と介護予防の講演会	サンライフ玉野	20
7月3日	糖尿病予防のための食生活について	津山市障害者福祉センター	13
7月11日	介護保険について	岡山県聴覚障害者センター	27
9月12日	色がもたらす癒しの効果	岡山県聴覚障害者センター	30
9月19日	笑いヨガについて	赤磐市立中央公民館	24
10月4日	悪質商法から身を守るには？	きらめきプラザ6階ウイズセンター	76
11月9日	腰痛予防について（体操）	くらしき健康福祉プラザ	28
12月4日	運転免許特定任意講習会	岡山県運転免許センター	5
12月5日	運転免許特定任意講習会	岡山県運転免許センター	2
12月5日	赤十字健康講演会	岡山県聴覚障害者センター	33
2月26日	ときめき片づけ	岡山県聴覚障害者センター	15

【中途失聴者・難聴者対象の講習会等】

開催	内容	人数	会場
4月30日	健康講座：正しいお薬の飲み方と飲み合わせ	34	倉敷市
7月24日	交通安全教室（自転車交通ルールの改正について）	20	倉敷市
10月30日	聞こえの相談会	24	備前市
2月19日	聞こえの相談会	15	倉敷市

【中途失聴者・難聴者対象の手話教室】

開催	内容	人数	会場
----	----	----	----

(毎月1回)	難聴者のための手話教室	114	岡山市
--------	-------------	-----	-----

(3) 手話通訳者養成事業

1. 目的

聴覚障害者の自立と社会参加、福祉の増進を図るため、手話通訳者の養成を行う。

2. 対象

聴覚障害者等の福祉に理解と熱意を有し、手話で特定の聴覚障害者と日常会話が可能な程度の者を対象に公募した。

3. 方法

厚生労働省通知の「手話奉仕員及び手話通訳者の養成カリキュラム」に則り、「基本課程」2講座(42時間)「応用課程」(42時間)「実践課程」(24時間)の3課程を設けた。身体障害者福祉の概要や手話通訳の役割・責務を理解させ、手話通訳に必要な手話語彙や手話通訳表現技術等の指導を行った。

4. 平成28年度実績

①手話通訳者養成講座の開催

講座	回数	終了者数	開催地
基本課程Ⅰ	21	17人	岡山市
基本課程Ⅱ	28	25人	浅口市
応用課程	21	14人	岡山市
実践課程	12	7人	岡山市

②平成28年度岡山県手話通訳者登録試験【手話通訳者全国统一試験】の実施

- ・実施年月日 平成28年12月3日
- ・実施場所 岡山県聴覚障害者センター
受験者数 37名
合格者数 5名

岡山県聴覚障害者福祉協会と岡山県手話通訳問題研究会及び岡山県手話通訳士協会の協力を得て実施委員会を設置し実施した。合格者について本人の承諾を得て岡山県認定手話通訳者として6名登録した。(6名の内1名は県外から転入)

③手話講座指導者の養成のための講座への派遣

- ・手話通訳者養成担当講師連続講座 広島市へ4名派遣した。

⑤県登録手話通訳者を対象として頸肩腕症候群特殊健康診断を実施した。

- ・対象：岡山県登録手話通訳者 92名
一次健診 問診票による健診 92名受診
二次健診 医師による健診 34名受診
医師：玉島協同病院 道端達也医師

(4) 手話通訳士養成事業

1. 目的

「障害者総合支援法」が施行されたことや、裁判員制度の発足、政見放送への手話通訳導入の拡大などにより、手話通訳者により高い専門性を持った人材の確保が求められており、登録手話通訳者を対象とした研修を行い、手話通訳士を養成し、手話通訳士を養成し、聴覚障害者の福祉の増進を図る。

2. 対象

- ・手話通訳士養成研修 登録手話通訳者
- ・手話通訳士現任研修 手話通訳士
- ・指導者養成研修 講師予定者

3. 方法

- ・手話通訳士養成研修 登録手話通訳者が手話通訳士の資格取得に向けた知識・技能の習得を図るため研修を実施した。
- ・手話通訳士現任研修 手話通訳士の知識・技能の向上を図るため、現任研修を実施した。
- ・指導者養成研修 全国手話研修センター主催の指導者養成研修が今年開催されなかったため、岡山県で講師を招いて研修した。

4. 平成28年度実績

①【手話通訳士養成研修】

- ・実施年月日 平成28年5月8日～9月25日（5回）
- ・実施場所 岡山県聴覚障害者センター
修了者 6名

②【手話通訳士現任研修】

- ・実施年月日 平成28年5月8日～9月25日（5回）
- ・実施場所 全国手話研修センター
修了者 4名

③【指導者養成研修】

- ・実施年月日 平成29年3月4日（1回）
- ・実施場所 全国手話研修センター
修了者 11名

④【手話通訳士養成・現任研修派遣】

基礎研修等

- ・実施年月日 平成28年5月27日～5月29日（3日）
- ・実施場所 きらめきプラザ
修了者 17名

現任研修

・実施年月日 平成28年5月27日～5月29日（3日）

・実施場所 全国手話研修センター
修了者 1名

・実施年月日 平成28年7月14日～7月17日（4日）

・実施場所 全国手話研修センター
修了者 1名

5. 第28回手話通訳技能認定試験（全国手話通訳士試験）

・実施年月日 平成28年10月1日～2日

受験者数 14名

合格者 2名

6. その他

実施方法については、岡山県聴覚障害者センター、岡山県聴覚障害者福祉協会及び岡山県手話通訳士協会が事業実施のための委員会を設立して決定した。

（5）要約筆記養成事業

1. 目的

聴覚障害者の福祉に理解と熱意を有する者に対して、手話取得の困難な中途失聴者、難聴者のコミュニケーションの手段としての要約筆記の指導を行うことにより、高い専門性をもった要約筆記者の養成を行う。

2. 要約筆記者養成講座

・実施年月日 平成28年6月12日～12月11日（18回）岡山市

・受験者数 35名

・修了者 22名（5名登録）

3. 全国統一要約筆記者認定試験（要約筆記者登録試験）

・実施年月日 平成29年2月19日

・受験者数 27名

・合格者 5名

4. 要約筆記者指導者養成研修への派遣

（西日本会場）

平成28年7月9日～7月11日 2人 京都市

平成28年9月17日～9月19日 2人 京都市

平成28年11月4日～11月6日 2人 京都市

（6）手話通訳者の設置事業

1. 目的

身体障害者の福祉に理解と熱意を有する手話通訳者を設置し、聴覚障害者及び音声又は言語機能障害者（以下「聴覚障害者等」という）の家庭生活及び社会生活におけるコミュニケーションの円滑化を推進し、聴覚障害者等の福祉の増進を図ることを目的とする。

2. 内容

手話通訳者3名（手話通訳士資格者）を配置

3 主な業務

- ①病気や交通事故など緊急時の手話通訳業務
- ②きらめきプラザ内での手話通訳業務
- ③ろう者団体の要請による手話通訳業務
- ④聴覚障害者の生活相談業務
- ⑤市町村手話通訳者派遣及び各種団体手話通訳者派遣のコーディネート業務
- ⑥その他
 - ア.手話通訳者派遣の市町村相互間の連絡調整
 - イ.専門性の高い手話通訳者派遣
 - ウ.コミュニケーションの円滑化
 - エ.生活相談
 - オ.その他

(7) 手話通訳者育成、要約筆記者育成人材確保事業（地域人づくり事業） （岡山県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業）

1. 目的

手話通訳者及び要約筆記者の聴覚障害者の社会参加及びコミュニケーション支援ニーズに対応できる人材の育成を確保するため、実施していたが、平成28年度は実施しなかった。

事業実施のための財源 平成28年度は実施しなかった。

(8) 字幕入りビデオカセットライブラリー貸出事業

1. 目的

聴覚障害者に対する情報提供に資するために、テレビ番組等に手話、字幕を挿入したビデオカセットテープ等（DVD）の貸出を行った。

2. 字幕付きビデオ（手話、字幕付きDVD等）の貸出

- ・利用者数 79人 177本

3. 手話学習ビデオ・書籍の貸出

- ・利用者数 181人 360本

(9) 聴覚障害者コミュニケーション機器貸出事業

1. 目的

コミュニケーションの困難な聴覚障害者の自立自助努力を助長するため、地域における各種大会行事等に聴覚障害者コミュニケーション機器を貸し出すことにより、聴覚障害者に対する理解と地域ボランティアの拡充を図り、聴覚障害者の福祉の増進を図ることを目的とする。

2. 年間の利用状況

- ・利用者件数 464件 136人
(プロジェクター・パソコン・ビデオデッキ・マイク等)

(10) 聴覚障害者関係地域ボランティア研修事業

1. 目的

手話・要約筆記に係る地域ボランティアの養成及び活動の動活性化を進めるために、手話通訳者及び要約筆記者に対し研修を行い、聴覚障害者の福祉の増進を図ることを目的とする。

2. 研修会

	年 月 日	内 容	対 象
①	平成 28 年 6 月 26 日(日)	◇事例検討・実技学習 ◇講演－「頸肩腕症候群 ～手話通訳者の健康管理について～」 講師－埴田 和史氏 滋賀医科大学社会医学講座衛生学部門	手話通訳者 72名
②	平成 29 年 3 月 5 日(日)	◇講義・演習「手話通訳者の倫理とパウンダリー」 講師－倉知 延章氏 九州産業大学国際文化部臨床心理学科	手話通訳者 75名
③	平成 28 年 9 月 17 日(土)	◇講演－「日本語の基礎知識」 講師－小嶋栄子氏 長崎短期大学教授	要約筆記者 60名
④	平成 29 年 3 月 11 日(土)	◇講演－「岡山県における障害者差別解消法の取 組について」 ◇実技学習	要約筆記者 62名

(11) 意思疎通支援者派遣連絡調整事業（連絡調整）

1. 目的

意思疎通支援を行う者の派遣に係る市町村相互間の連絡調整等広域的な対応を行い聴覚障害者の福祉増進を図る。

2. 対象 市町村

3. 平成28年度実績（年間派遣数）

手話通訳派遣について、市町村と委託契約を結び、広域派遣コーディネートを行った。

- ・広域派遣数 300件 323人
- ・同一市町村派遣 138件 152人

(12) 専門性の高い意思疎通支援を行う者の派遣事業

1. 目的

県内の聴覚障害者関係団体が実施する公益性の高い行事などにおいて、市町村の手話通訳者及び要約筆記者では対応が困難な場合に手話通訳者等の派遣を行い、当該行事などの実施を支援する。

2. 対象

県内の障害者団体等が主催又は共催する広域的な行事に派遣する場合のほか市町村での対応が困難である場合や知事が特に必要と認める場合も本事業の対象とした。

3. 方法

年度当初、聴覚障害者関係団体から、事業計画書を提出させ、予算の範囲内で実施した。

4. 年間派遣数

【岡山県聴覚障害者福祉協会】

- ・手話通訳者派遣数 13件 32人
- ・要約筆記者派遣数 3件 16人

【岡山県難聴者協会】

- ・手話通訳者派遣数 1件 1人
- ・要約筆記者派遣数 17件 57人

【その他の団体】

- ・手話通訳者派遣数 5件 10人
- ・要約筆記者派遣数 1件 4人

5. 団体別派遣数

【岡山県聴覚障害者福祉協会】(手話通訳者)

	開催年月日	会議・催事名	派遣人数
1	4月4日	青鳥理容文化会定期総会	1
2	4月17日	県聴障協女性部定期総会 式典・講演会	3
3	6月19日	岡山県聴覚障害者福祉協会 社員総会式典・講演会	3(4)
4	6月19日	〃 総会	2
5	7月1日	岡山県身体障害者福祉連合会女性部 総会	2
6	7月17日	岡山県手話通訳問題研究集会 開会式・記念講演	3(8)
7	7月17日	〃 全大会・閉会式	2
8	11月20日	第32回県民ふれあい手話まつり 式典・講演会	5(4)

9	11月26日	中国地区ろうあ連盟 合同研修会 教養講座	2
10	12月18日	// 基調講演・閉会行事	2
10	2月19日	おかやま聴覚障害者フォーラム	2
11	3月26日	平成28年度幹部研修会	4
16	3月27日	高齢部定期総会	1

※（ ）は要約筆記者で外数

【岡山県難聴者協会】（手話通訳者・要約筆記者）

事業運営会議・難聴研修交流会など開催し、手話通訳者17件 57名（要約筆記者1件 1名）派遣した。

【その他の団体】手話通訳者5件 10名（要約筆記者1件 4名）

（13）災害救援専門ボランティア研修事業

1. 目的

県が登録している災害救援専門ボランティア（手話通訳及び要約筆記者等の分野）に係る専門的な技術のレベルアップやボランティア意識の向上を図ることを目的とする。

2. 研修会

	年 月 日	内 容
①	平成28年 10月9日(日)	＝熊本地震での支援活動から学ぶ＝ ◇報告－「熊本地震における被災者支援にかかわって」 岡山県聴覚障害者センター 谷本雅子 ◇講演－「熊本地震での支援活動」 香川県聴覚障害者福祉センター 施設長 太田裕之氏 ◇制度説明－「災害救援専門ボランティアの仕組みや活動について」 岡山県県民生活部県民生活交通課主任 須山元氏 ○参加者 75名
②	平成29年 2月5日(日)	◇講義・演習－「『避難所運営ゲーム HUG』を体験しよう」 静岡県ふじのくに防災士会 事務局長 海野雅夫氏 ○参加者 86名

（14）聴覚障害者の相談業務

1. 目的

聴覚障害者及びその家族等の相談に応じ、必要な助言・情報提供・適切な専門機関への紹介等を行う。

2. 年間相談件数（ろう者・難聴者・親族・健聴者等）

・相談件数 317件 相談者数 337人

（15）自主事業

聴覚障害者センターの管理に関する年度協定に規定する「その他聴覚障害者の福祉向上のための事業」であり、センターで独自に企画した事業。

一. 広報活動の充実

- 1 広報誌「センターだより」の発行
第44号～47号 年4回発行・郵送配布
- 2 ホームページの公開

二. 手話通訳者派遣のコーディネート

- 1 目的
聴覚障害者に対する情報保障を推進するため、各種団体の要請を受け、県下全域にわたって手話通訳者派遣のコーディネートを行う。
- 2 年間派遣件数
団体派遣数 216件 391人

三. お昼休みのミニ手話教室

1. 目的
きらめきプラザ内に勤務する各種団体職員を対象に、簡単な手話の講習を継続的に行い、館内のコミュにケーション・バリアフリー化を進め、聴覚障害者の福祉増進を図る。
(1) 対象：きらめきプラザ内に勤務する各種団体職員
(2) 回数：月2回（第1，第3木曜日）
(3) 場所：きらめきプラザ1階ホール

四. みんながきらめく手話の会

1. 目的
手話の講座を修了した人を対象に、手話を介して交流や学習をすることにより、手話によるコミュニケーション能力を高めるとともに、高いレベルの手話を学びたいという意欲を育てる。
(1) 対象：手話に興味がある人
(2) 回数：毎週木曜日
(3) 内容：手話を介した交流・学習会
※開催実施 45回 560人

五. 「しゅわ」の集い

1. 目的

登録手話奉仕員を対象に研修を行い、奉仕員としてより手話に親しむとともに、ボランティアとして活動する意欲を高める。

2. 実施状況

※開催実施 4回 52人

六. 手話通訳者の集い

1. 目的

登録手話通訳者を対象に研修を行い、通訳者としてより一層の手話技術の向上と通訳者として活動する意欲を高める。

2. 実施状況

※開催実施 4回 39人

七. のびのびこどもひろば

1. 目的

聴覚障害児と聞こえる子どもたちが一緒に活動する中で、聴覚障害について理解を深めるとともに楽しむことのできる場を設ける。

※開催状況：平成28年8月27日 参加者数 22人

2. 内容：手話の読み聞かせ、積み木競争、お花ミラー作り、魚釣り他

八. 災害対策本部

◇ 災害対策本部の活動内容

	年 月 日	内 容
①	平成28年 10月9日(日)	＝熊本地震での支援活動から学ぶ＝ ◇報告－「熊本地震における被災者支援にかかわって」 岡山県聴覚障害者センター 谷本雅子 ◇講演－「熊本地震での支援活動」 香川県聴覚障害者福祉センター 施設長 太田裕之氏 ◇制度説明－「災害救援専門ボランティアの仕組みや活動について」 岡山県県民生活部県民生活交通課主任 須山元氏 ○参加者 75名
②	平成29年 2月5日(日)	◇講義・演習－「『避難所運営ゲーム HUG』を体験しよう」 静岡県ふじのくに防災士会 事務局長 海野雅夫氏 ○参加者 86名

九. ろう高齢者交流会

1. 目的

日ごろ、人との交流が少ない高齢聴覚障害者が同じ障害の友人や青年、女性と楽しい一時を持つ機会を提供する。

2. 活動の概要

①開催日時：平成28年12月18日（日）

②開催場所：きらめきプラザ 705 会議室

③内 容：講演会「世界で一番貧しい国・アフリカで学んだこと」
講師 角田 直也氏

④助 成：梶谷福祉基金

⑤参加者：51名

十. 中期目標の評価と見直し

1. 目的

センターの各種事業の成果については、平成23年度に策定し、平成25年度に一部改正した中期計画に基づき、新たな評価指標を策定し、これに基づく事業評価を実施する。評価結果については、センター運営委員会、運営会議に報告し、外部評価を実施する。

なお、本計画は計画期間中であるが、国の制度改正に伴い事業内容や財源に変更が生じたため、見直しを行う。

また、本計画が平成28年度で終了するため、次期中期目標の策定に向けた検討を進める。

2 平成27年度事業評価

(ア) 総合評価・・・・・・・・3.0

(イ) 公表方法・・・・・・・・

◇第2回センター指定管理者運営委員会（H28.7.30開催）

◇センター運営会議（H29.3.12開催）

◇センターホームページ

十一. 学校教育との連携

1. 目的

県内の小中学生等を対象に、総合的な学習の時間等を活用して、聴覚障害者センターで聴覚障害者に対する理解を深めるため、体験学習を行う。

2 実施回数

回数	年月日	学校名	参加者数	備考
第1回	H28.10.13	岡山市立伊島小学校	67	
第2回	H28.10.14	岡山市立伊島小学校	72	
第3回	H28.11.4	岡山市立瀬戸中学校	18	

第4回	H28.11.10	岡山市立財田小学校	96	出前講座
第5回	H28.12.8	岡山市立岡山後楽館高等学校	196	出前講座
小計			449	

十二. 関係機関や地域社会との連携

1. 目的

聴覚センター単独での事業運営には限界があるため、地域社会や他の公共施設、団体との相互連携活動を推進し、事業内容の充実と多様化を図る。また、文化講演会などの開催を検討する。

2. 実施状況

回数	年月日	連携団体名	連携事業内容	備考
第1回	H28.5.31	岡山県総合教育センター	お昼休みのミニ手話教室	10人
第2回	H28.6.15	岡山県生涯学習センター	お昼休みのミニ手話教室	10人
第3回	H28.7.6	岡山県生涯学習センター	〃	15人
第4回	H28.8.24	岡山県生涯学習センター	〃	6人
第5回	H28.9.7	岡山県生涯学習センター	〃	8人
第6回	H28.9.9	吉備中央町障害者等地域自立支援協議会	県内先進地視察	26人
第7回	H28.10.7	岡山県生涯学習センター	お昼休みのミニ手話教室	7人
第8回	H28.11.11	岡山県生涯学習センター	〃	8人
第9回	H28.12.9	岡山県生涯学習センター	〃	4人
第10回	H29.1.13	岡山県生涯学習センター	〃	4人
第11回	H29.2.10	岡山県生涯学習センター	〃	3
第12回	H29.3.17	岡山県青少年教育センター	文化講演会	30

十三. 聴覚障害者生活支援グッズの貸出

1. 目的

コミュニケーションの困難な聴覚障害者の自立自助を助長するため、生活応援グッズを貸し出すことにより、聴覚障害者の日常生活の円滑化を図り、聴覚障害者の福祉増進を図る。

2. 年間の利用状況

利用件数 12件 8人

十四. 岡山県青少年総合相談センター事例研修会

1. 目的

きらめきプラザ内の各相談機関の連携並びに相談員の資質向上を図る。

2. 実施回数 12回 199人

十五. 全国聴覚障害者情報提供施設協議会 手話通訳事業に関する専門委員会

1. 目的

当センター職員が、昨年度から、全国聴覚障害者情報提供施設協議会の手話通訳事業に関する専門委員会委委員に就任しており、手話通訳に関する担当者研修会などの円滑な実施に努める。

2. 委員会等の状況

(1) 専門委員会の開催

①第1回

- ・開催日：平成28年4月7日（木）
- ・場 所：京都市聴覚言語障害センター

②第2回

- ・開催日：平成28年7月22日（金）
- ・場 所：京都視聴覚言語障害センター

③第3回

- ・開催日：平成28年11月2日（木）
- ・場 所：京都視聴覚言語障害センター

④第4回

- ・開催日：平成29年1月26日（木）
- ・場 所：京都視聴覚言語障害センター

(2) コミュニケーション支援事業担当者研修会

- ・開催日：平成28年7月20日(水)～22日(金)
- ・場 所：京都市聴覚言語障害センター 京都テルサ
- ・内 容
 - (7/20)「障害者差別解消法・合理的配慮について」
講師：西村 直氏（きょうされん理事長）
 - (7/21)「聴覚障害者の暮らしから私たちの仕事を考える」
講師：近藤幸一氏（社会福祉法人 京都聴覚言語障害者協会）
「グループ協議」
 - (7/22)「意思疎通支援事業の動向、3年見直しについて」
講師：小中栄一氏（全国聴覚障害者情報提供施設協議会理事長）
- ・参加者：49名

(3) ブロック担当者会議

- ・開催日：平成29年2月19日(木)～20日(金)
- ・場 所：情報通信交流館 eーとぴあ・かがわ（高松市）

十六. 設立10周年記念事業の実施

(1) 目的

平成28年9月に、聴覚障害者センターが設立し、10周年を迎えたことから、広く一般県民のセンターや聴覚障害者への理解を深めるとともに、聴覚障害者団体と県民の交流促進を図る事を目的として、関係団体と協議しながら記念事業を実施する。

(2) 岡山県聴覚障害者センター設立10周年記念事業開催

(センターふれあいフェスティバル)

○開催年月日：平成28年11月6日(日) 10:00~16:00

○内 容：・記念式典

・記念講演

・ステージ発表

・展示・体験コーナー等

※記念誌「岡山県聴覚障害者センター10年のあゆみ」作成

○参加者数：239名

十七. 指定管理者運営委員会

平成17年のセンター設立以来、センターの適正な運営を図るため、岡山県聴覚障害者福祉協会と岡山県難聴者協会からそれぞれ選出された7名の委員で岡山県聴覚障害者センター指定管理運営委員会を構成し、センターの運営について協議する。

指定管理者運営委員会の開催実施 6回

事業実施のための財源 上記の(16)の一から十七までの事業は岡山県聴覚障害者センターの運営に係る岡山県からの指定管理料、受講料等を充当した。

II 収益事業

(1) 出版物販売（収1）

財団法人全日本ろうあ連盟から販売されている書籍等及び公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会が独自作成した書籍等を事務所で常時販売し、公益社団法人岡山県聴覚障害者主催の社員総会やふれあい手話まつり及び岡山県手話通訳問題研究集会や耳の日の集いの共催事業時に販売を行った。

(2) その他の収益事業

①コピー機器の使用料

各種イベントで使われる拡大コピー機の印刷の使用料の徴収を行った。

②事務手数料の徴収

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会の支部行事や会員がスポーツ大会に参加する際の事務手続きのための手数料を徴収した。

その他

(1) 保健体育に関する事業（収2）

聴覚障害者の心身の健康とスポーツ活動の推進を図るため、体育部の中に各種運動部を設け、全国・中国地区・岡山県等のスポーツ大会に選手派遣するとともに、各種委員会に出席した。

日 程	内 容	会 場
4月29・5月1・8・15日	第16回岡山県障害者スポーツ大会	岡山市
5月14日～5月15日	第8回中国・四国地区ろうあ者体育大会	愛媛県
5月14日～5月15日	第16回全国障害者スポーツ大会聴覚障害者バレー競技中国・四国地区予選大会	愛媛県
9月15日～9月18日	第50回全国ろうあ者体育大会	東北分散
10月22日～10月24日	第16回全国障害者スポーツ大会	岩手県

(2) 全国手話検定試験実施

9月14日 第11回全国手話検定受験者のための学習セミナー 岡山市
対象者 5級、2級

10月15日～16日 第11回全国手話検定試験 岡山市
試験 5級, 4級, 3級, 2級

(3) 聴覚障害者の福利厚生に関する事業

日 程	内 容	会 場
6月19日	第5回公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会福祉大会及び第5回社員総会	岡山市

10月3日	第12回岡山県高齢者のつどい	岡山市
12月28日	聴覚障害者フォーラム研修会	岡山市
11月20日	第32回県民ふれあい手話まつり	備前市
平成28年2月28日	2017年耳の日の集い	岡山市

(4) 関係官庁及び関係団体との連絡と協力に関する事業

ア. 岡山県・岡山県身体障害者福祉連合会等の会議への出席

イ. 全日本ろうあ連盟関係その他の各種行事、研修会等への派遣実施

日 程	内 容	会 場
6月8日～6月12日	第64回全国ろうあ者大会	徳島県
7月14日～7月15日	第30回全国ろうあ者相談員研修会	京都府
9月8日～9月10日	第27回専従職員研修会及び出版物対策研究会議	広島県
9月21日～9月25日	第28回全国ろうあ高齢者大会及び第7回全国ろうあ高齢者グラウンドゴルフ大会	新潟県
10月28日～10月30日	第46回全国ろうあ女性集会	鹿児島県
11月21日～11月23日	第50回全国ろうあ青年研究討論会	大分県
1月29日	第43回全国ろうあ女性研修会	静岡県

(5) 中国地区ろうあ連盟関係の各種行事や研修会への派遣

日 程	内 容	会 場
7月9日～7月10日	第40回中国地区ろうあ女性集会	鳥取県
7月9日～7月10日	第24回中国地区合同手話研究集会	島根県
11月26日～11月27日	2016年度中国地区合同研修会	岡山県

(6) 手話関係団体との連携・協力

一般社団法人岡山県手話通訳問題研究会との連携を深めるため、連絡・会議・研修会を開催した。

ア. 三団体代表者会議 毎月1回開催

イ. 聴覚障害者の参政権をすすめる会

ウ. 手話放送委員会

エ. 各種行事の連絡会議、研修会

県内の手話サークル会員・手話通訳者・聴覚障害者が一堂に集まり、手話・聴覚障害者問題について研究・意見交換を行い、お互いの資質向上を図った。

開催実施

日 程	内 容	会 場
7月17日	第31回岡山県手話通訳問題研究集会	岡山市
8月19日～8月21日	第49回全国手話通訳問題研究集会	神奈川県

(7) 聴覚障害者関係団体との連携・協力

一般社団法人岡山県手話通訳問題研究会、公益社団法人岡山県難聴者協会、岡山県要約筆記団体連絡会、岡山県聴覚障害者の親の会、岡山県難聴者を持つ親の会、岡山県立岡山聾学校同窓会、岡山県立岡山聾学校PTA、内山下こだまの会等との連携を深めるため、会議を開催した。

- ア. 聴覚障害者の参政権をすすめる会
- イ. 聴覚障害者制度改革推進岡山県本部
- ウ. 東日本大震災聴覚障害者救援岡山県本部
- エ. 岡山県聴覚障害者相談員連絡協議会

(8) その他、目的達成に必要と認める事業

①岡山県保健福祉部障害福祉課と随時意見交換を行い、お互いの意志疎通を図ると共に、福祉制度の充実を目指した。

②各専門部と各支部の自主的な活動及び運営への援助を行った。

ア. 各専門部の自主的な活動及び運営への援助

本協会組織の中に、組織部・手話対策部・福祉対策部・文化部・機関紙部があり、それぞれの事業を援助。

イ. 各支部の自主的な活動及び運営への援助

8支部（岡山・倉敷・玉野・笠岡・井原・浅口・東備・美作）があり、必要に応じて各支部の事業を援助した。

③管理事業

総会・二団体会議・理事会・各専門委員会等を開催し、本協会の運営と事業の推進を図った。

- ア. 総会
- イ. 三役会議
- ウ. 理事会
- エ. 各種専門委員会